

講義名	定性的方法論研究		
科目区分	方法論研究		
担当教員	清水 信年		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
	2018年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース） / 2017年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース） / 2016年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース） / 2015年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース）		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	24501

### 主題と概要

当科目では、定性的手法を用いて研究を行なうための基礎的な方法論を学びます。修士論文のような学術研究のための定性的手法に加え、実務家がマーケティング・リサーチを行なう際の定性的な手法についても取り扱います。

### 到達目標

- (1) 定性的な調査・研究手法が定量的な手法とどう異なるのか、理解する。
- (2) 定性的方法論の基本的な知識を身につけ、自信の研究活動に応用できるようになる。

### 提出課題

毎回の講義で、事前課題（レポート）の提出を求めます。

### 評価の基準

毎回の講義で提出される事前課題（レポート）の内容を、成績評価の対象とします。

### 履修にあたっての注意・助言他

特にありません。

### 教科書

.消費者理解のための定性的マーケティング・ラッセル・ベルク他 碩学舎 3000 ISBN : 978-4-リサーチ.

### プリント資料及び参考文献

藤本隆宏他 『リサーチ・マインド 経営学研究法』 有斐閣。  
田村正紀 『経営事例の物語分析』 白桃書房。

プリント資料は、適宜配布します。

### 授業計画

1. イントロダクション
2. はじめてみよう： 定性調査プロジェクトの始め方
3. 深層インタビュー
4. エスノグラフィーと観察法
5. オンライン上の観察とネットノグラフィー
6. データ収集のための道具
7. 学術調査のためのデータ分析・解釈・理論構築のアプローチ
8. 実務家のための分析・理論・プレゼンテーション
9. プレゼンテーション・公開・共有
10. 事例研究（ケース研究）
11. 歴史研究

### 予習・復習

毎回の講義で提出する事前課題（レポート）の作成には、教科書の当該の章を予習する必要があります。また、講義後には学んだことを自身の研究に活かすことを想定した復習を行なう、ということをお奨めします。

### 備考

特になし。